

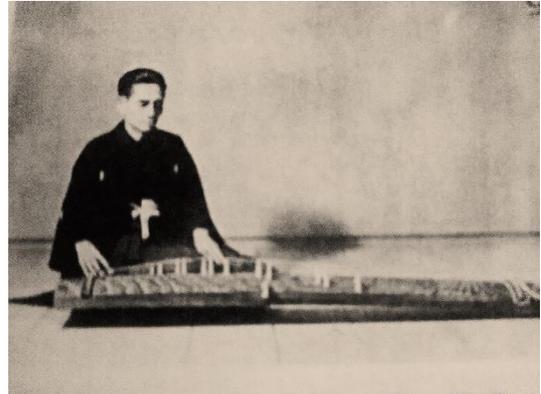
第12期短期講座「日本伝統芸能と音楽の世界」:北見先生の第9回講義レポート

第9回講義は1月8日(水)クリエイトセンター204・205 教室で行われた。

「日本伝統芸能と音楽の世界」第9回～宮城道雄の活動～

北見先生の講義最終回第9回は、「宮城道雄の活動」をテーマにしてその功績と影響を詳しく解説されました。

宮城道雄は、近代邦楽の発展に多大の貢献をした人物で、伝統を重んじつつ新しい要素を取り入れた楽曲の数々を生み出しました。彼がどのようにして箏や尺八の演奏技術を進化させ、さらにその音楽を世界に



広めていったのか。「春の海」をはじめとする代表作のエピソードや洋楽との融合を目指した彼の先駆的な試みについても語られました。実際の貴重な音源を聞きながら、彼の音楽の斬新さや美しさに触れることもでき、現代に通じる曲の新鮮さや箏の幅広い可能性を知って驚きもありました。



授業風景



宮城道雄とヴァイオリニスト、ルネ・シュメー

「春の海」協演で世界的有名に

この講座も残り1講座を残すのみですが、今まで多くの学びと感動を受講生の皆さんと共有できたことに感謝です。最終回も大いに期待してください。